

佐藤千壽コレクション 駒井哲郎銅版画展

2012年11月3日～12月16日 石洞美術館

展示 番号	作品名	制作年	寸法(mm)		備考	作品番号 (図録)
			※（ ）内は紙の寸法			
1	『人それを呼んで反歌という』（詩：安東次男）	1965年			エスパース画廊刊	44
-1	表紙	1965年	338×536	(500×654)		44-1
-2	PL.1 「詩人の肖像」	1966年	67×119	(330×498)		44-2
-3	PL.2「カタツムリ（この詩画集に参加した詩人のイメージ）」	1966年	105×95	(330×498)		44-3
-4	PL.3「小鳥（この詩画集に参加した画家のイメージ）」	1966年	94×104	(330×498)		44-4
-5	PL.4「残雪譜」	1965年	268×203	(328×498)		44-5
-6	PL.5「鎮魂歌」	1965年	268×203	(328×498)		44-6
-7	PL.6「年齢について」	1966年	290×723	(326×758)		44-7
-8	PL.7「夕立」	1965年	102×118	(330×500)		44-8
-9	PL.8「夕立」	1966年	272×442	(330×498)		44-9
-10	PL.9「厨房にて」	1966年		(330×502)		44-10
-11	PL.10「食卓にて、夏の終りに」	1965年	269×442	(330×500)		44-11
-12	PL.11「腐刻画」	1966年	270×166	(330×500)		44-12
-13	PL.12「人それを呼んで反歌という」	1965年		(330×498)		44-13
-14	PL.13「枝おろし」	1966年	270×204	(330×500)		44-14
-15	PL.14	1965年	270×204	(330×500)		44-15
-16	PL.15「小犬」	1966年	80×66	(330×502)		44-16
2	夢の始まり	1949年	122×152	(196×234)		1
3	夢の終り	1951年	123×154	(216×382)		6
4	束の間の幻影 ※小さな幻影	1950年	54×129	(218×254)		2
5	束の間の幻影	1951年	180×292	(324×410)		5
6	小さな魚	1950年	55×124	(230×320)		3
7	墓掘人	1951年	168×121	(284×190)		7
8	マルドロオルと鱧 ※鱧とマルドロオル	1951年	170×120	(326×255)		8
9	時間の迷路	1953年	241×222	(384×352)		10
10	風景	1954年	187×286	(328×412)		11
11	佛国風景	1954年	98×69	(260×254)		12
12	教会の横	1955年	159×120	(284×254)		13
13	物語の朝と夜 ※海辺の貝	1958年	101×120	(320×226)		18
14	手	1960年	120×81	(252×216)		27
15	海鳴り	1960年	138×142	(406×330)		24
16	樹 ※樹木 ルドンの素描による	1956年	234×202	(414×330)		14
17	ある空墟	1957年	179×270	(282×382)		15
18	樹木	1957年	180×270	(282×380)		16
19	樹	1958年	272×182	(384×288)		17
20	Oiseau et Fruit（鳥と果実）	1959年	152×174	(380×462)		19
21	果実の受胎	1959年	264×362	(368×420)		20
22	ある日	1959年	261×364	(326×416)		21
23	蝕果実	1960年	224×343	(284×384)		25

〔凡例〕

・所蔵者が記載されている作品以外は、全て公益財団法人美術工芸振興佐藤基金 石洞美術館の所蔵である。

・作品名の表記は原則として駒井哲郎自身が作品に記したものを採用し、下記の基準を設けた。2－4に関しては、『駒井哲郎 1920－1976』（東京新聞、2011年）、『駒井哲郎銅版画展図録』（東京新聞、1980年）、『駒井哲郎版画作品集』（美術出版社、1979年）の順で参考にした。

- 日本語とフランス語の作品名が記されている作品に関しては、エディションとサインの間に記されたフランス語の作品名を採用し、日本語を（ ）内に記した。
- フランス語の作品名のみ記されている作品は〔 〕内に日本語の作品名を記した。
- 作品名が一般的に知られている作品名と異なる作品には「※」を付し、一般的な作品名を記した。
- 作品に作品名が記されていないものは文献を参考にした。

・寸法は、銅版画はプレートマークの外側、リトグラフは画面サイズ、その他は紙面サイズを記した。

展示 番号	作品名	制作年	寸法〔mm〕		備考	作品番号 (図録)
			※（ ）内は紙の寸法			
24	Petit Jardin（小さな庭）	1960年	153×176	(354×410)		26
25	嵐	1962年	184×184	(330×254)		36
26	実	1961年	142×136	(406×328)		29
27	笑う人	1961年	136×140	(406×328)		30
28	妖	1961年	190×86	(326×250)		28
29	庭の小蟲	1961年	300×228	(406×330)		32
30	oiseau volant et feuilles〔飛んでいる鳥と木の葉〕	1961年	280×420	(380×560)		33
31	貝	1962年	263×396	(380×486)		35
32	詩画集『人それを呼んで反歌という』 PL.11「腐刻画」見本刷	1966年	271×164	(505×328)		42
33	L'oiseau mort〔死んだ鳥の静物〕	1962年	334×423	(454×604)		34
34	洪水 ※大洪水	1965年	364×754	(520×904)		39
35	poisson ou poison（魚または毒）	1962年	260×361	(380×564)		38
36	Cirque〔サーカス〕	1965年	271×424	(326×502)		40
37	橋	1966年	176×196	(320×450)		41
38	二樹	1967年頃	245×170	(450×316)		52
39	Feuille d'épreuve	1967年	390×254	(562×384)		51
40	laminage〔ロール締め〕	1967年	420×304	(560×382)		53
41	泉	1968年頃	420×300	(560×380)		54
42	constellation〔星座〕	1962年（刷り：1968年）	272×362	(380×560)		55
43	小鳥たち	1967年	76×85	(254×234)		46
44	樹	1967年	68×90	(254×234)		47
45	海の中の・・・ ※海の中の静物	1968年	124×82	(254×234)		48
46	発生学	1968年	124×76	(254×234)		49
47	魚のピエロ	1968年	118×111	(254×234)		50
48	個展案内状	1960年	各42×152	(152×380)		23
49	ラジオ アクティヴィティ イン マイルーム	1950年	100×185	(124×192)		4
50	Labyrinthe d'heures〔時間の迷路〕	1952年	241×222	(500×330)		9
51	小鳥たち	1967年	77×87	(250×330)		45
52	賀状(1960年)	1959-60年	76×76	(98×190)		22
53	暑中見舞	1961年	96×98	(114×230)		31
54	小鳥たち	1962年	83×119	(126×326)		37
55	人形	1966年	109×79	(142×254)		43
56	『青年に期待する』挿絵 原画	1967年頃				56
-1	挿絵1 原画	1967年頃		(73×113)		56-1
-2	挿絵2 原画	1967年頃		(98×135)		56-2
参考1	個展案内状	1960年				参考1
参考2	『現代日本の音楽5』（日本コロムビア） レコードジャケット	1970年			日本コロムビア株式会社所蔵	参考2
参考3	佐藤千壽『青年に期待する』（日本商工出版）	1967年				参考3
参考4	千住金属工業株式会社 社員誕生祝い記念品 スプーン				個人蔵	p.8, 図1

【次回展示】

土屋コレクション 華麗なる色彩の共演 マイセン展 会期：1月12日～4月7日